

慶應義塾大学 文学部

日本史学専攻

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

日本史学専攻では、ディプロマ・ポリシーの達成を目的として以下のカリキュラムを編成する。

1. 日本史の全体像を捉えるために「日本史概説」を、個別の時代やテーマに関する理解を深めるために「日本史特殊」を開講する。古代～近代の史料読解の基本をレクチャーする「日本史史料講読」、幅広く各時代の史料に関する基礎知識を講義する「古文書学」、専門とする時代の史料を読み解く能力を磨く「日本史演習」、論文執筆の能力を養う「日本史研究会」を設置する。また、歴史学の学問体系について学ぶために「史学概論」を置き、日本史以外の歴史学の学問的方法を体験するために「東洋史概説」「西洋史概説」「考古学」「民族学」から所定の単位を選択必修とする。広く様々な分野の学問体系に触れるため、30単位以上の選択科目の履修を求める。
2. 日本史学に関する包括的な知識と基礎的な能力を修得し、社会人としての基礎的なリテラシーを身につけたことを確認するため、「卒業試験（卒業論文）」を課す。